

特別支援教育だよシ

第2号



令和5年6月15日

長崎市立深堀小学校

特別支援教育部

子ども達の頑張りが光った運動会が終わり、水泳指導が始まりました。

前号の特別支援教育だよりに「困り感をもった子には、その子に合った適切な指導・支援を行っています。それが、特別支援教育です。」と載せていました。今号では、その困り感をもった子を見つける手立てとしての「見守りシート」を紹介します。

○見守りシートとは？

「見守りシート」は、子ども一人一人の「心と体の成長の様子」を、身近にいる大人が正しく理解し、もし、何かにつまずいていたり、困っていたりしたら、できるだけ早い段階から必要な支援を行い、健やかな成長を促すために、家庭と学校で見守っていくためのシートです。

保護者の立場から、お子様の心と体の成長の様子を把握していただくために、年に一度、見守りシートへの記入をお願いします。学校では毎月、子どもたち一人一人に「生活調べ」を記入してもらい、各担任が、自分の学級の子どもたちの学校生活や家庭生活の様子を振り返っています。

これらの取組により、保護者、本人、担任のそれぞれの立場から、子どもたちの現在の心と体の発達の様子や学習面、生活面での課題等を把握します。そして、個別に配慮が必要な場合は、教育相談を実施するなど、学校と家庭が一体となって、子どもたちの健やかな成長をサポートしていきます。

○見守りシートの取り扱い

見守りシートは年に一度、6月に実施します。見守りシートと「生活調べ」をもとに、夏休みに個人面談(保護者と担任)を行います。

書いていただいた見守りシートは学校で保管し、次年度、新しいシートを書いてもらう時の参考にしてもらいます。

卒業時には、まとめて保護者にお返しします。

※ 見守りシートの書き方は、裏面にあります。ご覧ください。

見守りシートの書き方

「見守りシート」には、A票とB票（裏面）があります。A票を記入して、お子様の様子に気になることがあったら、裏面のB票に記入してください。

気になることがない場合は、A票（表面）のみ記入して、学校へ提出してください。

A票を記入

7つの質問に対して、「できる」「だいたいできる」「できないことがある」「できないことが多い」のいずれかに○をつける。

・気になることがある。

「できないことがある」「できないことが多い」に○がたくさんついた。

B票を記入

裏面の1～30の項目ごとに○をつける。

・気になることがある。

「できないことがある」
「できないことが多い」
に○がたくさんついた。

・気になることがない。

記入は終了！
学校へ提出

・気になることがない。

記入は終了！
学校へ提出

教育相談

個別に学校と教育相談を受けることができます。教育相談を希望されるかどうか、「はい」か「いいえ」に○をつけてください。教育相談を希望される場合は、後日、学校から連絡させていただきます。教育相談を希望されなくても、学校としてお子様をしっかりと見守っていきますが、必要に応じて、学校から連絡する場合がありますので、御理解ください。

見守りシートは明日配布します。記入されたら、個人用封筒（ピンクの封筒）に入れて、担任へ提出してください。6月23日（金）までにお願いします。